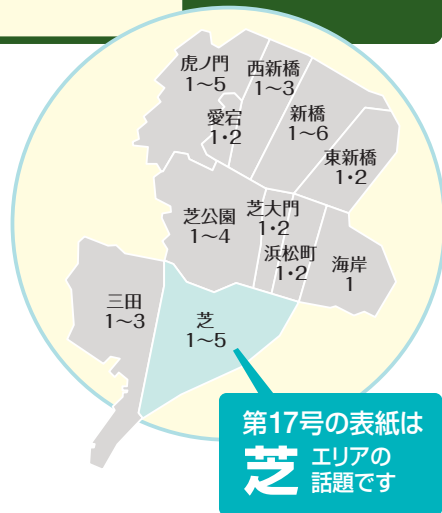


平成22年
11月20日発行

『芝地区地域情報誌』は、地域の皆さんとともに創る情報誌です。芝地区の「いい話」を紹介したり、様々な行事や活動の情報を交換したり、地域の皆さんと一緒に地域のことを考えていく場として、地域情報誌を発行しています。



「札の辻」の歩道橋から北東方向を望みます。右が第一京浜で田町駅方向、左がこの交差点を起点とする都道301号(白山祝田町線)で、慶應義塾大学付近から桜田通りとなります。

第17号の表紙は
芝
エリアの
話題です

かつて江戸の入り口だった 「札の辻」と「芝」

芝という名は15世紀後半の文献に登場するほど古く、旧芝区(現在の芝地区・高輪地区・芝浦港南地区)、芝地区と使われ続けている、地域を代表する有名な地名です。

町名の由来は、海辺に近く、広い芝地だったことからというのが有力な説のようですが、定かではありません。

現在、芝地区の南西の端に第一京浜の交差点名として残っている札の辻は、江戸時代の高札場で三辻(三差路)の一角を利用し、きまりや注意などを多くの人々に知ら

せる場所でした。江戸初期の元和2年(1616)、この札の辻に芝口門が建てられ、江戸の町の正面の入り口としての役割を担っていました。東がすぐ江戸湾に接し、海を隔てて房総の山を望む、1日眺めても飽きない景色であったため、日暮御門とも言われました。江戸市街の拡大に伴い宝永7年(1710)、江戸の入り口と高札場は札の辻から南の高輪大木戸に移され、芝口門が新たに新橋の北側に造営されると、そこを

芝口と呼ぶようになりました。

日比谷通りと第一京浜が交わっている現在の芝4丁目のあたりは、旧町名で本芝と呼ばれ、今も町会の名称として残っています。江戸市街の広がりとともに、当時の人たちは芝の本来の地を後世に伝えたかったのでしょう。

これぞ 都心の銭湯!

芝公園から将監橋を渡り、芝2丁目に入る交差点のすぐ横の、まるで交番が置かれるような場所にのれんがかかるビルがあります。港区区営の公衆浴場「ふれあいの湯」です。施設長の相坂晃男さんにお話を伺いました。

「昭和50年(1975)頃には港区には38の公衆浴場がありました。この辺りでも3つほどありましたが、内風呂の普及などにより利用客が減少し、すべて廃業することになりました。しかし地域の皆様方からの強い要望があり、児童公園があった現在地に平成7年(1995)4月にオープンしました。港区には現在7つの公衆浴場がありますが区営は「ふれあいの湯」だけです」

1階は玄関・フロント、2階に女湯、3階に男湯、そして4階は休憩室という構造になっていて「銭湯ビル」といった感じです。1フロアは50m²弱で、港区内ではいちばん狭い銭湯ではないでしょうか。

中に入ってみました。靴を脱いでエレベーターに乗り、風呂場へ向かいます。浴槽は6人程度はゆったり入れる広さで、洗い場のカラン(蛇口)は7個。湯はガスボイラー焚きで43度に設定されているそうです。壁にはレインボーブリッジが描かれ、これぞ「都心の銭湯」です。4階には飲み物の

港区立公衆浴場 「ふれあいの湯」

自販機があり、ひと風呂浴びた後の休憩もできます。小規模ながら全体として明るく清潔感があり快適という印象を受けました。利用者は1日平均120名ほどで、午後3時の開店前から並んで待つ地元の方もいらっしゃるそうです。最近では「東京マラソン」の影響か、会社帰りに近くの公園等でひと汗流した後に立ち寄るマラソンランナーが増え、またホテルなどが多い土地柄のため、日本の風呂を経験してみたいという外国人観光客の利用もあるそうです。

「3年ほど前から2か月ごとに『健康入浴』のイベントを実施しています。これは営業1時間前に4階の休憩室を利用して、入浴前にストレッチ等の体操を行ったり、落語や手品の催しを楽しんでいただいたりするもので毎回大変喜ばれています。今後も続けていきたいですね」と相坂さんは楽しそうに語ってくださいました。

【文・写真 ■ 岩崎 秀顕】

施設長の
相坂晃男さん
(入口で)

3階の男湯

ふれあいの湯
芝2-2-18
TEL 03-5442-2639

●15時～23時(月曜日、毎年1月1・3・4日休業)



芝2丁目に残る河原崎座跡地の由来

かわらさきざ 河原崎座跡地

9代目市川團十郎が 襲名した劇場跡地

金杉橋を大門側から三田方向に渡ると、右手の角に大きなビルが見えてきます。芝2丁目のこの地は、江戸三座(中村座、市村座、森田座)のひとつに数えられる森田座の控え櫓、すなわち系列劇場だった河原崎座の跡地です。

明治7年(1874)7月に当時の芝新堀に新築落成した河原崎座では、37歳の河原崎(市川)三升が9代目市川團十郎を襲名するとともに、河原崎座の座頭となりました。

9代目團十郎はもとの名を河原崎長十郎、長じて河原崎権十郎といい、6代目河原崎権之助の養子でした。ところが明治元年(1868)9月に、養父の権之助が自宅で浪士の強盗に斬殺されてしまい、この時権十郎は戸棚に隠れていて九死に一生を得ました。一方、権十郎の家である市川家では、権十郎の兄にあたる8代目市川團十郎が早くに自殺してしまい、市川宗家の後継者が不在の状態でした。

こうした事情を背景に河原崎権十郎は、明治2年(1869)3月に7代目河原崎権之助を襲名し、さらに明治6年(1873)9月に河原崎(市川)三升と改名し、翌年7月には河原崎座で9代目市川團十郎を襲名することになったのです。

河原崎座はその後、新堀座と改名され、明治18年(1885)11月には廃座となりました。しかし河原崎座で襲名した9代目團十郎は、明治22年(1889)11月に新築落成した初代の歌舞伎座の座頭となり、明治36年(1903)9月に66歳で亡くなるまで、歌舞伎界を代表する名優として活躍しました。明治28年(1895)11月に9代目團十郎が歌舞伎座で演じた歌舞伎十八番の「暫」は伝説の名演として語り継がれるとともに、團十郎による当時の演出がほぼそのままのかたちで現在の「暫」にも受け継がれています。

【文 ■ 久末 弥生】

参考文献:

- ・金森和子編『歌舞伎座百年史』本文篇上巻(松竹 歌舞伎座 1993)
- ・岡本綺堂『歌舞伎談義』(青蛙房 1957)
- ・岡本綺堂『ランプの下にて 明治劇談』(岩波書店 1993)
- ・西山松之助『江戸文化誌』(岩波書店 1987)

河原崎座跡地
芝2-3(芝二丁目大門
ビルディング)付近



90年代インテリジェントビルの代表格 NECスーパータワー

宇宙ロケット？

四角いビルが多い中で、宇宙ロケットを連想させるこの建物は、ひときわその姿を印象づけています。日本建築学会発行「建築雑誌」の1991年作品選集に数ある応募の中から選ばれるなど、完成当初から注目度も高かったそうです。

真ん中に風穴が

NECスーパータワーは「ビル風を解決するために上へ行くに従って段階的に細くなる3段ロケット型」になっており、ビルの13～15階の位置にある開口部は、ビル



正面玄関前の全高10メートルの巨大円形噴水（1996年作）で、風光を反射して輝き、中央部分にNECスーパータワーの形になっていて、日谷通の御成門（二子・三軒茶屋等）を意図した、未来に通ずるもの象徴でもある。

平成2年(1990)に完成したNEC本社ビルは、「NECスーパータワー」という愛称で親しまれています。どんなところが「スーパー」なのでしょう？ その秘密に迫りました。

夜間に光る？

東京湾からもよく見えるビルですが、ひところ「NECスーパータワーは夜に一瞬光を出す」と都市伝説のようにうわさされたことがありました。これについてビルの担当者は「都の環境アセスメント第1号にもなったこのビルは光害対策にも配慮しているため、ブラインドが毎時0分に閉まるように自動制御されています。その閉まる直前にブラインドの角度によって一瞬光が漏れ出たことが原因だったようです」と説明してくれました。

各階にお天気マーク

このビルは窓が二重になっているため、中にいる社員には外の天気の変化があまり伝わらないようです。雨が降っているのにも気づかないで傘を持たずに外出してしまわないように、各階のエレベーターホールへの出入り口上部にお天気表示があるのもインテリジェントビル(注2)のおもしろさでしょうか。

歴史ある地に建つハイテクビル

現在ビルが建っている場所にはかつて薩摩藩上屋敷があり、かの天璋院篤姫が住んでいたこともありました。また、明治維新の動乱の引き金となった薩摩藩邸焼き



NECスーパータワー
(平成2年撮影／提供
NEC広報)
日建設計
高さ180メートル、
地上43階・地下4階の
建物

討ち事件があった場所でもあります。

そのような歴史ある地に、時を経てハイテク技術を取り入れた宇宙ロケットのような高層のビルが建っているのを見ると、文明の発展の勢いが感じられました。

〔文 ■ 伊藤 泰子〕

(注1) アトリウム…室内に設けられ、天井の高い、大規模な中庭のような空間
(注2) インテリジェントビル…従来の建物の機能に、コンピュータで制御した高度な情報通信システムとビル管理システムとを付加したビル

* 参考資料：「日本電気株式会社 百年史」(日本電気 2001)
日本建築学会「建築雑誌」1991/3/Vol.106/NO.1311
日本建築学会「建築雑誌」1991年作品選集 1992/3/10発行

info
NECスーパータワー
(NEC本社ビル)
芝5-7-1

芝の食文化

天ぷら

江戸前天ぷらと 粋な船遊びを満喫

『船宿 縄定』

江戸庶民の人気ファーストフードの1つが天ぷらでした。「天麩羅」と書いた看板を見かけますが、この名の由来について山東京山(小説家)は『蜘蛛の糸巻』(弘化3年〔1846〕)に書いています。

天明の初め(1781年ごろ)、浪速から利介という浪人が芸者と江戸に駆け落ちし、京山の家の近所に住んだ縁で京山に「浪速には魚肉のつけ揚げを売る店があるが、江戸では見かけないのでこれを商売にしたい。ついてはしゃれた店名を考えてはくれまいか」と相談したのです。京山はそれなら兄の京伝(戯作家)のほうからうってつけと頼み込みました。快諾した京伝は、「天は天竺浪人(利介のこと)の天を、麩とは小麦粉のことで、羅は薄衣の意味であるから衣に見立てる」という、とんちのかいた文字をあてます。利介は「これは面白い



揚げたてが食べられる江戸前天ぷらと船頭料理



船大工の粋を集めた自家製の船

と気に入り、京山が看板の行燈に書き入れました。魚介を竹串に刺し、小麦粉を水でといた衣をまぶし、胡麻油で揚げて大皿に並べ、1個4文で売りました。隣には井に天つゆのような汁が置かれ、これに漬けて食べます。利介のつけ揚げの屋台は開業するやたちまち大繁盛し、それにあやかりー旗揚げようと次々と天麩羅屋台が増え大流行りとなりました。この頃江戸湾ではアナゴ、芝エビ、キス、ハゼ、貝柱など魚介類が豊富に獲れていたというのも好条件でした。ちなみに、野菜を揚げたものは「あげもの」と呼んで区別していました。天麩羅は安くて美味しく、腹持ちがよいことから町人たちがお得意さんでしたが、特権階級や武士には下視されていました。しかし刃りに漂うよい匂いについて誘われ、手拭いで頬かむりをし顔を隠してまで買い食いする武士も多かったそうです。

やがて幕末になると天麩羅は料理屋のメニューにあり、金ぶら・銀ぶら*が登場していただいにお座敷天ぷらとなり、

*金ぶらと銀ぶら…諸説あるが、金ぶらは衣に卵の黄身を入れたもの。銀ぶらは「卵の白身を入れたもの」。銀ぶらは評判が悪くすぐに姿を消した。

高級化していきました。

さて、江戸後期あたりから大名や裕福な商人の娯楽に船遊びが流行り、釣った魚を天ぷらにして船上でいただくのが風流とされていました。

『船宿 縄定』は江戸後期に「えんまや」の屋号で、金杉浦で延縄漁と海苔漁、それに魚釣りの網を作って売っていたのが今に伝わっている系図ですが、徳川家康が江戸城を開城すると、いの一番に城へ魚介類を献上したらしいということが近所の寺の過去帖に残されているそうです。

大正末期に3代目の定吉さんが漁業と船宿の『縄定』に改め、5代目の梅吉さんが船中で揚げたての天ぷらを供するスタイルを行い、現在6代目の竹内浩さんに継がれています。

出航前の待合室には網や釣竿など、かつて漁業に使った道具類や昭和初期の屋形船の模型などが展示されていて、昔の漁師の仕事が垣間見られます。

屋形船は金杉橋から東京湾をぐるっと航行して廻ります。春は特別にお花見コースがあり、隅田川を下ります。ライトアップした兩岸の桜並木は歓声が沸くすばらしい景観だそうです。東京湾で採れたアナゴとキスは薄衣でかりつと揚げ、中身は厚く柔らかでふくよかな味わいです。昔はセレブたちのレジャーだった船遊びと江戸から続く天ぷらの味わいを楽しんでみてはいかがでしょうか。

〔文 ■ 千葉 みな子／写真 ■ 張簡 光輝〕

参考文献：浜田一郎「江戸たべもの歳時記」(中央文庫 1977)
大久保洋子「江戸のファーストフード」(講談社 1998)

info
船宿 縄定
浜松町2-13-11
TEL 03-3431-5629

ハンガリー共和国大使館

訪問記

副大使に INTERVIEW

副大使のボジック・ペーラ氏



ハンガリーというと、多くの人は「ドナウの真珠」と言われる首都ブダペスト、陶器のヘレンド、作曲家でピアノリストのフ란ツ・リスト、トカイワイン、温泉を思い浮かべるかもしれません。

慶應義塾大学正門から中等部へ行く途中の三田NSビルに赤・白・緑のハンガリー国旗が見えます。このビルの中に大使館があり、今回、副大使のボジック・ペーラ氏にお話を伺いました。



19世紀半ばからヨーロッパの貴族を中心に愛好され始め、その品質が高く評価されているヘレンドの陶器

ハンガリーはヨーロッパにありながら、 アジアにルーツを持つ国

ハンガリーはヨーロッパにありながら、アジアにルーツを持つ国です。ハンガリーの民族音楽は、モンゴルをはじめシチリア、ヴォルガ川周辺の少数民族など25の民族の影響を受けていると言われており、その中にはアイヌ民族音楽も含まれるそうです。

また、ハンガリー語と日本語との類似性も指摘されており、英語が苦手という日本人が、ハンガリー語を勉強したらたちまち良い成績をとったという話があります。日本語との共通点があるからでしょう。名前の言い方も、日本と同じで苗字が先に来て、先述のリストの場合、ハンガリーではリスト・フ란ツ(ハンガリー語でフェレンツ)になります。

ノーベル賞受賞者が人口比で日本の約10倍

ハンガリーの人口は約1千万人ですが、ハンガリー出身のノーベル賞受賞者は13人もいます。日本は人口約1億2千万人で受賞者は17人ですので、人口比からみてハンガリーの受賞者数はすごい数といえます。副大使はその理由として「ハンガリーの国民性が他民族の文化を取り入れて、自国文化に消化する能力にすぐれていること。その基盤の上に、よりレベルの高い教育を受けられる制度があったこと」を挙げました。

ほかにも副大使は、指揮者の小林研一郎氏が昭和49年(1974)に第1回ブダペスト国際指揮者コンクールで優勝して以来ハンガリーで有名なことや、昨年平成21年(2009)の「日本・ハンガリー交流年」のプロジェクトの一環として、エリザベート橋のライトアップをデザインしたのは照明デザイナーの石井幹子氏であることなどをお話しくれました。

ハンガリーはこんなに身近な国

ルービック・キューブ考案者のルービック・エルネーはハンガリー人で、ボールペンもハンガリー生まれ、そして郵便はがきのルーツも前身のオーストリア・ハンガリー帝国発行の「コレスボンテンツ・カルデ」と言われています。どの家庭にもある身近なものがハンガリー生まれだったのですね。最近ハンガリーでは政権交代があり、所得税を減らしたり、国会議員の数を約半数にしたり、中小企業を応援するなどの改革を進めているそうです。副大使から日本とハンガリーとの共通点など、いろいろとお話を伺い、ハンガリーがずっと身近に感じられた訪問となりました。



料理長のモルドヴァン・ヴィクトル氏

料理長に INTERVIEW

大使館で働く人々は普段どんなことをしているのかしら? という素朴な疑問から、大使館の料理長モルドヴァン・ヴィクトル氏にインタビューしました。

ヴィクトル氏は来日して3年半になり、その前はブダペストで約10年、五つ星ホテル「ル・メリディアン・ブダペスト」などで腕を磨いてきた経歴の持ち主です。

ハンガリー料理を日本に紹介する仕事も

大使館の夕食会やレセプションが最優先の仕事ですが、その他にも、大人向けの料理教室を開いているほか、「ホテル西洋銀座」でハンガリー料理やワインを楽しむフェアに参加したり、子どもたちの国際交流を進める事業「リトルアンバサダー(小さな親善大使)」でハンガリー料理をデモンストレーションしたりと忙しい日々を過ごしています。

試行錯誤を繰り返し新しい料理も創作

「豚のラードを泡立てて食べる」という発想は日本人にとって新しいことでしょう。ハンガリーの名産マンガリツァ豚のラードをどうしたら泡立てることができるか試行錯誤を繰り返し、ついに写真のような一皿をつくりあげました。試食すると、口の中でふわっと溶け、しっとりとした舌ざわりでした。

この他、抹茶を入れたカッテージチーズのデザートを作ったり、マンガリツァ豚を使った料理やブドウの種をしぼったグレープシードオイルを日本の企業と協働して多くの人に知ってもらったりする活動もしているそうです。

「来日は自分にとって大きな決断でした。ハンガリーと日本での生活は全てが異なり、大変なことも多いですが、その一方で楽しいことも多いです。日本に来てからラーメンが気に入り、よく食べに行っています」と笑顔でお話くださったヴィクトル氏は、これから日本とハンガリーの文化交流に大きく貢献してくださるでしょう。

〔文 ■ 伊藤 泰子／写真 ■ 張簡 光輝〕



■参考資料
・沖島博美文 旅名人編集室編「ハンガリー“千年王国”への旅」(日経BP企画 2007)
・加賀美雅弘「ハブスブルク帝国を旅する」(講談社現代新書 1997)

info
ハンガリー共和国大使館
三田2-17-14
TEL 03-3798-8801

芝活人

さまざまな分野で活躍されている
芝地区の皆さんをご紹介します

日本書道研究会

第7代会長 田中金川氏
第8代会長 米山映峯氏



田中金川氏(前)と米山映峯氏

今回は神谷駅近くにある「日本書道研究会」を訪ねました。書を好み、深い研鑽を積んだ初代会長山口半峯氏が明治44年(1911)に前身の東京臨池会を創設し、昭和21年(1946)に日本書道研究会と改め、現在も会員739名を率いて書道の普及に尽力されています。

昭和初期に2代目会長田中金峯氏が西久保巴町*に住んでいた関係で本部事務所を巴町に移して以来、芝地区を中心に活動されています。金峯氏は戦後の荒廃した時代に、今という生涯学習である成人学校を開き、書道の普及に努められたそうです。

お話は7代目会長の田中金川氏と現会長で8代目の米山映峯氏に伺いました。

*西久保巴町…旧町名。現在の虎ノ門3丁目あたり

金川氏は虎ノ門の天徳寺の近くの金峯氏の家の向かいで生まれ育ち、昭和15年(1940)に金峯氏のもとに弟子入りされました。第二次大戦中、やむなく2年間疎開された時期を除いては金峯氏のもとで書道一筋に励み、終戦を迎え疎開先から戻るとすぐに稽古を再開しました。周囲は一面空襲により焼け野原になっていたものの、金峯氏と金川氏の家だけが焼失を免れていたそうです。

金川氏が編集にもたずさわってきた昭和44年(1969)創刊の会報「書の心」は、今年の11月で

info
日本書道研究会
虎ノ門4-2-5 第3松坂ビル
TEL 03-3433-1529



教室で書道を習う生徒の皆さん。教室に掛けられている書は金峯氏の筆によるもの

〔文・写真 ■ 天津 由理香〕

港区で楽しむアート

11

愛と平和を 静かに訴える… 3人の女たち



JR新橋駅前のSL広場にひっそりと立つ3人の女たち、通称「愛の像」は、街角を行き交う人々に憩いをもたらしてくれます。この彫刻は、昭和51年(1976)、東京新橋ライオンズクラブから、創立20周年記念事業として港区に寄贈されました。隣の黒く輝くSL車体に何やら気押されそうな、可憐でほっそりとした女たちは、少年のように中性的で、性をほとんど感じさせません。作者である彫刻家・瀬戸国治(1905～1991)は、日展評議員を務めた重鎮で、その作品は、出身地でもある長野県・辰野美術館に多く所蔵されています。明治学院大学白金キャンパスにある「ヘボン博士の胸像」も彼の作品です。

像の本来の名称は、「平和をモチーフとする母子のブロンズ像」と石碑にあります。目を凝らすと、母と2人の子どもの群像彫刻であることが見て取れます。

3体の像が、輪のごとく循環するさまは、母から子へ、途切れることなく永遠に命が受け継がれていくことを示唆しているかのようです。水盤を支える6本の腕が、絶妙な傾斜角度でバランスを保ち、調和が平和につながることを教えてくれるように感じます。

鉄道発祥の地・新橋の駅前は、都心の中でも、最もせわしく人々が往来する場所の一つです。そこに置かれた3人の母子像は、街の喧騒とは無縁の涼しげな顔をして、愛と平和を静かに訴えます。その前にたたずみ、声なき声にしばし耳を傾けたおやかな時を一時でも刻みたいものです。

〔文中敬称省略〕
〔文 ■ 小知和 千佳子〕

info
平和をモチーフとする母子のブロンズ像(愛の像)
SL広場
JR新橋駅日比谷口(駅西側)

さわやかなこの季節は、何をするにしても、私たちに有意義な時間を与えてくれます。たとえば、ふだんとちょっと違った時間を過ごすためにミュージアムへ出かけましょう。

美術館ではゆっくり鑑賞し、味わい、作品が心にしみる時を楽しみます。博物館や資料館では、新しい知識と体験でリフレッシュします。パブロ・ピカソは言いました。「芸術は、毎日の生活で、魂にたまったほこりを洗い流してくれる…」。(※)

芝地区にあるミュージアムで、そんなあなただけの時間を過ごしてみませんか。

※原文は「Art washes away from the soul the dust of everyday life.」

1 日本の酒情報館

日本の酒の持つあらゆる文化的要素を総合的に集約・情報化し、受信と発信を展開していくための広告拠点・資料公開の場です。

info 港区西新橋1-1-21 日本酒造会館1・4階
TEL 03-3519-2091
(4階ライブラリーは事前予約制)
開館時間：10:00～18:00(試飲受付は17:40まで)
休 館 日：土・日曜日、祝祭日、年末年始
👉 無料(試飲される場合は5銘柄525円、20歳以上)



2 大倉集古館



明治の実業家大倉喜八郎氏が大正6年(1917)に設立した日本で最初の私立美術館です。喜八郎氏が生涯をかけて収集した古美術品と、跡を継いだ長男・喜七郎氏が収集した日本の近代絵画などの美術品を中心として、普賢菩薩騎象像(写真下)をはじめとした国宝3点を含む約2,500件の美術・工芸品と約1,000部の漢籍を有しています。



info 港区虎ノ門2-10-3
TEL 03-3583-0781
開館時間：10:00～16:30(入館は16:00まで)
休 館 日：月曜日(祝日の場合は開館)、展示替期間、年末年始
👉 一般800円、大学生・65歳以上500円(特別展期間中は一般1000円、大学生・65歳以上800円)

3 菊池寛実記念 智美術館

現代陶芸のコレクターである菊池智氏が長年にわたり蒐集してきた現代陶芸のコレクションの一般公開、関連事業による現代陶芸の普及、および陶芸作家や研究者の育成を目的とした美術館です。3月21日(月・祝)まで、「流転転生-鈴木藏の志野」展を開催しています。

info 港区虎ノ門4-1-35 西久保ビル
TEL 03-5733-5131
開館時間：11:00～18:00(入館は17:30まで)
休 館 日：月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)、年末年始(12月28日から1月1日)、展示替期間
👉 一般1300円、大学生800円、小・中・高生500円
※企画展によって異なります。



4 NHK放送博物館



世界最初の放送専門のミュージアムとして昭和31年(1956)に放送のふるさと愛宕山に開館しました。大きく進歩、発展を遂げた放送の歴史に関するさまざまな実物展示やライブラリー(番組、図書史料)が公開されています。

info 港区愛宕2-1-1
TEL 03-5400-6900
開館時間：9:30～16:30(7月と8月は17:00まで開館)
休 館 日：月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)、年末年始
👉 無料

5 港区立 港郷土資料館



区内で発掘された原始・古代～近世遺跡の出土遺物、区指定文化財、館蔵の古文書や民俗資料などを展示して港区の歴史や文化を紹介しています。「常設展示」や「さわれる展示室」(常設)などのほか、特別展やコーナー展も随時開催しています。



info 港区芝5-28-4(三田図書館4階)
TEL 03-3452-4966
開館時間：9:00～17:00
休 館 日：日曜日、祝日(7月21日から8月31日の間の日・祝日は開館)、毎月第3木曜日(休日の場合は前日)、年末年始
※特別整理期間、臨時休館等の日時は、お問い合わせください。
👉 無料

Let's go to the museum!

芸術の秋、文化の秋 芝地区の美術館や博物館へ 出かけよう♪



6 あんぜんミュージアム(産業安全技術館)



職場の安全衛生対策の必要性を学ぶ施設です。11月15日(月)から1月14日(金)まで、高齢化への移行に伴って増加が懸念される労働災害を防ぐため、特別展「高齢労働者に配慮した職場改善～転倒災害防止を中心として～」を開催しています。



info 港区芝5-35-1 産業安全会館1・2階
TEL 03-3452-6431
開館時間：9:30～17:00(入館は16:30まで)
休 館 日：土曜日・日曜日・祝日・年末年始
👉 無料

このサイトもチェックしてみましょう♪

港区内にあるミュージアムが連携して情報を発信しているサイトです。現在29施設が加盟し、月2回催し物情報も更新されています。

● 港区ミュージアム・ネットワーク
<http://www.lib.city.minato.tokyo.jp/musenet/index.cgi>

12 旧新橋停車場 鉄道歴史展示室

新橋停車場駅舎の再現に合わせて開設された展示室です。鉄道発祥の地である汐留の歴史の紹介と発掘された遺構が見学できる常設展と、「明治」「鉄道」「汐留」をテーマに年3回開催する企画展があります。

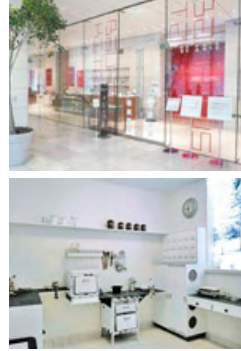
info 港区東新橋1-5-3
TEL 03-3572-1872
開館時間：11:00～18:00(入館は17:45まで)
休 館 日：月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)、年末年始、展示替期間
👉 無料



11 パナソニック電工 汐留ミュージアム

社会貢献の一環として収集・所蔵してきた20世紀を代表する画家ジョルジュ・ルオー(1871～1958)の作品を館内のルオーギャラリーで常設展示しています。また、年に一度のルオー企画展を開催する他、事業領域である「建築」「生活文化」をテーマとする企画展も開いています。現在、「バウハウス・テイスト バウハウス・キッチン展」(写真下)を12月12日(日)まで開催しています。

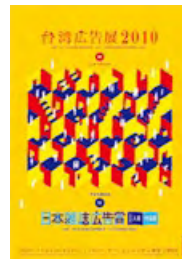
info 港区東新橋1-5-1 パナソニック電工本社ビル4階
TEL 03-5777-8600(ハローダイヤル)
開館時間：10:00～18:00(入館は17:30まで)
休 館 日：月曜日(祝・祭日は開館)、展示替期間、館内整理期間、年末年始、夏期休業期間
👉 一般700円、65歳以上500円、大学・高校生500円、中・小学生300円



10 アド・ミュージアム東京

日本唯一、広告とマーケティングの総合資料館です。江戸中期から現代までの広告の歴史が一覧できる常設展と国内外広告賞の最新受賞作の企画展があります。また、約2万冊の広告専門図書が見られる図書館もあります。11月23日(火・祝)から1月16日(日)まで、「台湾広告展2010」「第53回日本雑誌広告賞入賞作品展」を同時開催します。

info 港区東新橋1-8-2 カレッタ汐留
TEL 03-6218-2500
開館時間：11:00～18:30(入館は18:00まで)土曜・日曜・祝日・振替休日は16:30まで(最終入館は16:00)
休 館 日：月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館。図書館は日曜日も休館)
👉 無料



9 東京都公文書館

歴史的資料として重要な価値を有する公文書などを後代に伝えるため、収集、保存してこれらの効率的な利用を図ります。館内ロビーでは、所蔵資料の概要を紹介する展示を行っています。

info 港区海岸1-13-17
TEL 03-5470-1334
開館時間：9:00～12:00、13:00～16:30
休 館 日：土曜日、日曜日、国民の祝日及び振替休日、年末年始(12月28日から1月4日)、毎月第3水曜日(当日が祝日の場合は翌日)、3月31日
👉 無料



8 建築会館ギャラリー

法人が主催する建築文化向上を目的とした展示・催し物(建築図面、写真、作品模型展など)を随時開催しています。展示テーマや開館時間、休館日についてはその都度異なりますので、お問い合わせください。

info 港区芝5-26-20
TEL 03-3456-2016



7 女性と仕事の未来館

働く女性・働きたい女性を総合的に支援する拠点である「女性と仕事の未来館」内の展示です。「働く女性のあゆみ展示」や世界で働く女性などの映像番組を提供する「現在・未来展示」をはじめとした常設展示と、女性が働くことをテーマにしたさまざまな企画展示を行っています。

info 港区芝5-35-3
TEL 03-5444-4162
開館時間：火～土曜日9:30～21:00、日曜日9:30～17:30
休 館 日：月曜日、祝日(月曜日が祝日の場合翌火曜日も休館)、年末年始
👉 無料



「きもの」の生地の
絹、木綿、麻などを「洋服」の素材に、
洗練された「きもの」の意匠を
「洋服」のデザインに

ギャラリー・古布工房 アトリエ ヤマガタを訪ねて

平織、晒、縮子、緋、紬、結城、単衣、袷(註1)、ご年配の方ならずぐに「きもの」にまつわる言葉とピンときたことだろう。読者の皆様、読みと同時に意味もお分かりになったろうか。

愛宕グリーンヒルズプラザの一角に、「マルに上り藤」紋の藍染の暖簾が掛かった、安彦克己、仁子ご夫妻のギャラリー・古布工房 アトリエ ヤマガタがある。



ギャラリーにて

柳宗悦の「手仕事こそ日本の美」(註2)に賛同し、古代史に興味をお持ちの克己さんは、黒摩庵の壺、平戸焼の染付皿などを蒐集している。他方、服飾デザイナーである仁子さんは、「きもの」をほどこし、洗い張りをしてから、その「きもの」の生地を素材として洋服に仕立てている。小さい時にお母さんから裁縫の手ほどきを受けた仁子さんはファッションに興味を持つようになり、洋服学校を卒業した。その後結婚、子育てを終えた時、単筒の肥やしとなっていたお母さんの「きもの」にはたと気がついた。

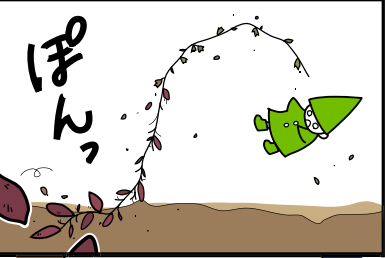
元来、母から娘へ、孫へと受け継がれた「きもの」は、祝いの時、悲しみの時などの家族のこころの形見でもあった。昔の「きもの」は絹、木綿や麻などの自然素材の生地に深みがあり、草や木など自然の染料で染められた生地の色は、化学染料では望めない美しさと肌への馴染みを持っている。また織りや意匠の多様性は、手仕事によって生まれてくるとも、いのちをつむいでいるとも云われている(註3)。手仕事の成果は、緋、大島、型染め、友禅、縮緬、帯、さらに月と星、草花などの家紋、太鼓や横笛の鳴り物、鳥や花などの刺繍にと枚挙にいとまがないほど多くの美しさを生み出している。

しかし、単に「きもの」をほどこし、その生地を洋服の素材に生まれ変わらせようと思わぬ困難に直面する。仕立てられた「きもの」は和服用寸法に裁断されており、かつ「きもの」の生地、反物は、ほぼ1尺(約33cm)の幅しかなく洋服の立体的裁断に向いていない。さらに、洋服のパターンに合わせていくと、既存の「きもの」の意匠、文様を中途で切断しなければならず、無念さやその手仕事の難しさが増してくる。加えて、着る人に合わせるために反物を平面的に和裁した「きもの」は、裾と着丈が分かれば仮縫いをほぼ必要としないが、他方、立体的に身体に合わせる洋服は、多くの採寸と仮縫いが少なくとも一回以上必要となる。これらの問題を乗り越えて、一点物の「きもの」の生地「洋服」は作り上げられる。

ある日、「フォーマルな洋服にしてください」とお母様の思い出のお召し物だという「きもの」が持ち

toita women's college

これがホントの



こまれた。「苦心を重ね、丹精をこめて、これを見事に正装の洋服に仕立てることができました。お客様は国際的外交の舞台上日本の古来の手仕事の美しい「きもの」の生地仕上げの『洋服』をお召しになり、自信を持ってお仕事にあられたそうです」と、仁子さんは後日談をお話くださった。

まさにこのエピソードこそ、伝統工芸・民芸の美を発掘した柳宗悦が、手仕事で世界が一つに結ばれるのは、国々がお互いに固有のものを尊び、形

こそ違ってもその内側にひとつに触れ合うものを感じることだ(註4)と云ったことの証である。

古き良き日本の手仕事の「きもの」は、今存亡の危機にあると云えよう。この「きもの」こそ、装いは新たなにして、その手仕事の美が再び現代ファッションの世界で飛翔してほしいものである。

打ち掛けからドレスに
[文■森 明/写真■張簡 光輝]

註1 読み方は順に、ひらおり、さらし、りんず、かすり、つむぎ、ゆうき、ひとえ、あわせ
註2 柳 宗悦「手仕事の日本」(岩波文庫 1985)
註3 志村 ふくみ・鶴見 和子対談「いのちを縫う 色・織・きもの思想」(藤原書店 2006)
註4 柳 宗悦 前掲書 p240

※取材協力：
ギャラリー・古布工房 アトリエ ヤマガタ
(安彦 克己、仁子)
虎ノ門3-21-5 愛宕グリーンヒルズプラザ1F
TEL 03-3431-8204

2009年度第8回JHPカンボジア絵画展

JHP賞 受賞者

港区立芝小学校卒業生
まつざか まりん

松坂 應論さんにインタビュー！



賞状を手にする松坂さん
(芝小学校長室で)



受賞作品「自転車に乗る私」
(作品集より)

2009年度第8回JHPカンボジア絵画展で入賞された松坂應論さんは、現在、区内の中学1年生。芝小学校在学中にJHPカンボジア絵画展に応募した作品が、小学校卒業後に賞を受賞したという、うれしいお知らせが届きました。

今回は、そのJHPカンボジア絵画展の賞状を授与されるということで、應論さんの母校、芝小学校の校長室にて、その喜ばしい瞬間と作品についてのお話を伺いました。

——このたびは、JHPカンボジア絵画展のご受賞おめでとうございます。

「ありがとうございます」

——應論さんは、芝小学校を卒業されて現在は中学1年生になり、がんばっていらっしゃるんですね。

「はい、がんばっています」(笑顔)

——作品を拝見しました。素敵な絵ですね。スカートが、ふわっとになっているのがいいですね。風を感じての感じが伝わってくるようです。

「はい、ありがとうございます」

——今回、受賞された感想を聞かせてください。

「(受賞は)思ってもみなかったのですが、やっぱり、うれしいなって思いました」

——コンクールの作品タイトルは、「○○をしている私、または誰か」というテーマでしたが、この絵はどんな思いで描かれたのでしょうか？

「今、ここの絵の背景は道路になろうとしているところで、最後に一枚絵を描けたらいいなって思いました」

——いずれ道路になってしまう景色、應論さんの好きな場所なのですね。この絵の背景は、畑ですか？ どのような素材で描かれたのでしょうか？

「はい、畑です。水彩絵の具です。」

——作品を描くにあたって、何か発見や楽しかったところはありましたか？

「畑の作物の部分が細かくて、筆をすこく立てて描かないと難しかったです。空を塗るところが描いていてウキウキしました。晴れた空ですね。夏の空です。」

——これからも絵は描かれますか？

「好きな雲とか、近くの風景を描こうかなと思ってます」

——芝地域で好きな場所はありますか？

「母校、芝小学校の全体の風景です。校庭も冬は寂しい感じですが、春がくれば色とりどりの花が咲いて好きな景色です」

——最後になりましたが、應論さんの将来の夢を教えてください。

「はい。もし、できるのなら、歴史学者になりたいと思っています」

——本日は、いろいろとお話をしてくださり、ありがとうございました。

「ありがとうございました」

こちらからのいろいろな質問に笑顔でしっかりと答えてくださった應論さん。作品についてのお話の中では、その言葉から應論さんの作品に対する思いがとてもよく伝わってきたのが印象的でした。應論さんに続いて、これからも、芝小学校をはじめとした多くの児童たちが、個性豊かな様々な作品を描いて絵画展に参加することでしょう。

(文・写真 ■ 桑原 庸嘉子)

葉

- ・葉がパリッと締まった感じである(葉を手のひらで全体的に軽く押しチェック)
- ・葉の数が多い(基本的に葉1枚に花びらが1つできる)

- ・大小の葉が混在しているものは避ける(肥料の効きにばらつきがある)
- ・葉が黄色に変色している(病気の可能性がある)

鉢土

- ・土にカビが生えているものは避ける

ここがポイント！

鉢土には「培養土」と「ビートモス」(シダや水苔が発酵した土)を使用したものがある。培養土は葉・花とも大きく、茎も太い傾向。ビートモスは全体的に繊細な仕上がりが、花数が多い傾向。今では一般的に「底面給水鉢」はほとんどがビートモス。(ただし、1度乾かしてしまおうと底面の受け皿にいくら水をあげても吸い上げなくなるので注意が必要)

花

- ・色鮮やかである
- ・花びらが反転して、炎のように見える(つぼみは咲き始めると「反転」する)
- ・花びらに「斑点」があるものは避ける(灰色かび病などの病気の可能性がある)

つぼみ

- ・さまざまな大きさのつぼみ、細長くきれいな形のつぼみがたくさん上がつている(次々に花が咲くので長く楽しめる)

購入後のポイント

購入後いきなり暖かい部屋に置くと急激な環境の変化に対応できず、株が弱ることがあります。徐々に慣らしていきましょう。秋から春先までは室内(15～20℃)が一般的。過度に日が当たる窓際が理想的ですが、夜間はカーテンをしだして急激な冷えから守ります。

■9月 地図作りを通してまちの魅力を発見

9月から、「つながるご近所プロジェクト」が始まりました。このプロジェクトは、高齢社会の近所付き合いを支援するメディアデザイン※を住民参加型で行うというもので、9月から11月の3か月にわたって、調査、立案、試行を行っていく予定です。まず9月は調査ということで、まちのことを知るための手段として地図作りを行いました。



毎週木曜日にワークショップを開き、あるときは大きな模造紙に自分たちが好きな場所や気になる場所を書き込んだり、あるときは皆でまちを散策しながらいつもより注意深くまちの様子を観察したり、またあるときにはお年寄りから昔の話を伺ったりしました。近隣住民のほかには在勤者や在学者を含む参加者たちは、地図作りを通して、まちの魅力を新たに発見したり、課題に気付いたりすることができたようです。

大使館で取材した郷土料理 ⑩

イタリア



「ローズマリー風味のフォカッチャ」 Focaccia al rosmarino

イタリアの平たいパンです。さまざまな形のフォカッチャがあり、オリーブオイルやハーブと共に焼き込むのでピッツアの原型とも言われています。



【材 料】(5人分)

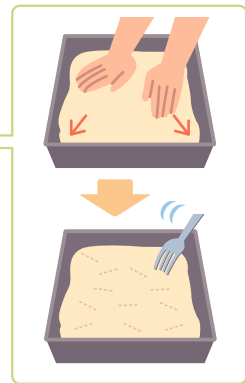
薄力粉	350g
水	150cc
ビール酵母	6g
塩	小さじ2
砂糖	小さじ1/2
エクストラヴァージンオリーブオイル	大さじ4
ローズマリー	1枝(葉をちぎって使う)
オレガノと粗塩	適量

【調理時間】

準備	10分
発酵時間	30分
焼成時間	20分

【作り方】

- ① ボウルに水を入れ、ビール酵母、塩、砂糖、オリーブオイルを加える。ホイッパーでかき混ぜ、薄力粉を加える。
- ② ①の生地が均一でしなやかになるまで、手で力強くこねる。
- ③ オープン用の四角い天板にオリーブオイル大さじ3～4杯(分量外)を塗る。
- ④ 油を塗った天板全体に手で生地を伸ばして広げる。
- ⑤ 生地が膨らみ過ぎないように、フォークで穴をあける。
- ⑥ 生地の表面にオリーブオイル(分量外)と粗塩ひとつまみをふりかけ、ローズマリーの葉とオレガノも適宜散らす。
- ⑦ ラップをかけて、温かい場所に少なくとも30分置く。
- ⑧ 生地が十分に発酵したら、200℃に予熱しておいたオーブンで15～20分焼く。
- ⑨ 温かいうちに皿に盛り、ローズマリー(分量外)を飾り付け、出来上がり。



芝の話題

訪問記

社団法人 全日本司厨士協会東京地方本部

社団法人 東京都司厨士協会

(社)東京都司厨士協会は東京タワーから飯倉交差点へ向かう一つ目の信号を越えた右角のかわいらしいビルの5階にあります。松崎光次事務局長にお話を伺いました。

(以下、松崎事務局長のお話です)

業界では「西洋料理」を専門に従事する料理人を「司厨士」と呼びます。総本部の(社)全日本司厨士協会は正14年(1925)に創立し昭和34年(1959)から社団法人として活動しています。東京を含めて12地方本部1万2,000人の会員、賛助会員で構成されています。

(社)東京都司厨士協会は(社)全日本司厨士協会の東京地方本部に所属し、東京都から昭和61年(1986)に独自の認可を受けた社団法人です。都内14支部

に2,800名の会員の方々が活躍されています。活動内容は「隔刊 西洋料理」やホームページに詳しく載っていますが、簡単に申しますと、1. 栄養衛生教育、2. 調理技術向上、3. 店舗厨房改善、4. 外国調査研究、5. 一般家庭への料理法普及、6. 会員互助などと多岐にわたります。なかには一般の人も参加できる「都内のホテル、レストランでの宴会会や、バスで食品工場や産地の見学試食会などプロの年間スケジュールに参加同行する」というものもあります。

その道のプロに同行しながら東京の食文化の舞台裏をのぞき、同時に時の最先端の味に触れられるというわけですからなんとも贅沢なことだと思います。

じつは私も地元芝地区の生まれ

で、芝小学校3年生の時に疎開しましたが、その当時のこのあたりの様子を思い出すとそのおもかげはほとんどありません。永井荷風が書いています。

「今日まで日々の生活について、何のめずらしさをも、懐かしさを感じさせなかった物の音や物の色が、月日の過ぎゆくうちにいつともなく一ツツ消えて、遂に二度とふたたび見ることも聞くこともできないということが、はっきり意識せられる時がくる。すると、ここに初めて綿々として尽きない情緒が湧き起ってくる。」

その通り、料理の世界もまた日々新たなです。

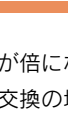
——松崎事務局長、ありがとうございました。

(文・写真 ■ 柴崎 賢一・柴崎 郁子)



社団法人 東京都司厨士協会
芝公園3-6-22 J.C.ビル5F
TEL 03-5473-7261

●ホームページ: <http://www.tokyo-chefs.jp>



芝地区昭和の地域力再発見事業拠点「芝の家」
芝3-26-10
TEL 03-3453-0474

●月・火・木 11時～16時開室
●水・金・土 13時～18時開室
●ウェブサイト <http://www.shibanoie.net/>



しばのいえ にっき

「芝の家」日記



10月4日でオープン2周年を迎えた芝の家。10月17日の日曜日には、2周年を記念した「いろはにほへつと芝まつり」を地域の皆さんとともに開催しました。今回は、暑かった夏の出来事からご紹介します。

■8月 夏休みに引っ越して来た姉妹

ある姉妹が芝に引っ越して来たのは、夏休みのこと。新しいお友達もーから作らなくては…そんな心配を抱えながら、姉妹は芝の家に遊びに来てくれたようでした。芝の家に遊びに来る子どもたちは、多くが互いに顔見知りです。とはいえ見たこともない子だとしても(ときには大人相手です)、好奇心を持つのが彼らの強み(?)。妹のほうは引っ込み思案ながら、お姉ちゃんは、おじいちゃん仕込みの昔遊びや折り紙を披露して、あっという間にとけ込んでしまいます。とくに常連のKちゃんとは、お姉ちゃんが今度通う小学校の同学年ということで、すっかり仲良しになれた様子。初めの不安な表情もどこへやら、姉妹そろって帰りは笑顔で手を振ってくれていました。

所や気になる場所を書き込んだり、あるときは皆でまちを散策しながらいつもより注意深くまちの様子を観察したり、またあるときにはお年寄りから昔の話を伺ったりしました。近隣住民のほかには在勤者や在学者を含む参加者たちは、地図作りを通して、まちの魅力を新たに発見したり、課題に気付いたりすることができたようです。

※メディアデザイン…様々な意思疎通の手段を利用して、どのようにメッセージを伝えることができるのか、また、どのようなメッセージを伝えることができるのかという問題について研究を行うこと。

■9月下旬 暑さも和らぎ、赤ちゃん続々

9月も下旬になりようやく秋の気配が感じられるようになった頃、芝の家では多い時には3組のお母さんと赤ちゃん

のいる風景が見られるようになりました。

板張りの床に座布団を敷き詰めて簡易布団の出来上がり。赤ちゃん達はそこにコロコロ横になって、スタッフが差し出したぬいぐるみと戯れたり、お腹がすいてミルクを飲んだり、お昼寝タイムがあったり…と大変ややかな時が流れていました。芝の家にいるみんなで見守ることで、毎日、常に「赤ちゃん」を意識している「お母さん」がしばしばその意識から解放されて、ゆっくりとコーヒーを飲む時間が作れたかもしれません。

昭和の頃は、お隣さんにちよっと頼んで…という事が日常だったそうですが、なかなかそうにはいけなくなってしまう今、芝の家で、お母さん同士、また子育ての先輩である世代の女性たちのおしゃべりは、不安を取り去ったり、

喜びが倍になるような情報交換の場にもなっているようです。これからもいろいろな人たちに気軽に芝の家に立ち寄ってほしいと思います。

芝消防少年団がモデル少年消防クラブに選ばれました！

平成22年4月に、芝消防少年団が総務省消防庁、文部科学省並びに財団法人日本消防協会等の行う「安全で災害に強い地域づくり推進事業」のモデル少年消防クラブに選ばれました。この事業は、少年消防クラブの育成強化を通じて安全で災害に強い地域づくりを推進することを目的としています。モデルに選ばれたことによって、活動服やD級可搬ポンプ、AEDトレーナー、人体モデルを宝くじの助成により整備し、少年団のメンバーたちはより実践的で効果的な活動を行うことができるようになりました。

平成9年に発足した鼓笛隊は、みなと区民まつりをはじめ社会福祉施設訪問、管内のJR駅及び周辺で演奏を行い、防火防災を区民の皆様に呼びかけ、社会貢献に取り組んでいます。



メンバーたちは将来の防災リーダーを目指して、これからも地域に根ざした活動を明るく楽しく続けています。

●芝消防少年団プロフィール

発 団：昭和54年(1979)3月29日
(港区内で最初の消防少年団！)
団 員：80名(小学生～中学生)
活動内容：防火・防災に関する知識・技術を身につけるとともに、火災予防広報活動や社会福祉施設への訪問等、社会奉仕活動をしています

戸板女子短期大学 食物栄養科主催

家族で体験！屋上菜園で夏野菜の収穫＆調理実習



去る8月6日(金)真夏の暑い日差しの中、芝2丁目にある戸板女子短期大学の屋上菜園「Shiba Farm」にて、地域の家族を対象に夏野菜を収穫し、調理するイベントが開催されました。このイベントは地域貢献活動の一環として行われた取り組みです。

この日は3家族10名が参加しました。先生から収穫する野菜の特徴や食べごろについての説明を聞いたのち、子どもたちは食物栄養科の学生と一緒に、なすやトマト、ピーマン、唐辛子などを収穫しました。高層ビルに囲まれた地上7階の屋上菜園で、色鮮やかな野菜を収穫する子どもたちの顔はとてもいきいきしていました。

その後、学内の調理室にて調理実習が行われ、かご一杯に収穫した野菜たちを野菜の肉詰めオープン焼き・焼き茄子のパスタ・トマトのシャーベット・ベジケーキ(夏野菜のパウンドケーキ)・鰯の南蛮漬けなどに調理しました。夏の陽射しをたっぷり浴びた旬の野菜は栄養満点です。自分の手で収穫したものはよりおいしく感じられたのではないのでしょうか。

今後も、こういったイベントを通じて地域と大学との関係がより深まっていくといいですね。

info 戸板女子短期大学
芝2-21-17
TEL 03-3452-4161

芝地区まちづくり組織の活動

「環状2号線新橋地区環境・まちづくり協議会」は、環状2号線が開通した後のまちづくりについて、右記の日時で勉強会等を開催しました。

◎活動報告
開催日時：10月20日(水)
開催場所：南桜公園管理棟
主な議題：〈第2回勉強会〉・ビルの建替えのモデル検討について
〈第1回催事部会〉 1. 催事部会の進め方について
2. 「自転車と街づくりの提案」

「みなとコール」は暮らしの疑問にお答えします！



区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽にお問い合わせください。
年中無休／午前7時～午後11時
※英語での対応もいたします。

ゴヨウ(は)ナーニ ミナト(コールです)
TEL 03-5472-3710
FAX 03-5777-8752
Eメール: info@minato.call-center.jp

警視庁犯罪被害者ホットライン

被害者や家族の相談窓口です。
迷わずに
勇気を出して
相談してください

匿名でもOK 秘密厳守 お気軽に
TEL 03-3597-7830
FAX 03-3592-6840
愛宕警察署

バリアフリー改修をした住宅にかかる固定資産税が減額されます

- 減額の対象となる住宅
平成19年1月1日以前からある住宅で、65歳以上の方が居住する住宅について、平成19年4月1日から平成25年3月31日までの間に、人の居住の用に供する部分(賃貸部分を除く)において、一定の要件を満たすバリアフリー改修工事を行った場合
- 減額の年度と額
改修工事完了年の翌年度分に限り、居住部分で、住宅1戸あたり100㎡の床面積相当分までの固定資産税額の3分の1が減額されます(賃貸部分は、減額の対象にはなりません)。

主税局イメージキャラクター
タックス・タクちゃん

減額を受けるためには、バリアフリー改修工事完了後3ヶ月以内に申告が必要です。詳しくは、当該住宅が所在する区にある都税事務所へお問い合わせください。
なお、23区外でバリアフリー改修をした場合には、当該住宅が所在する市町村へお問い合わせください。

●問い合わせ先
港都税事務所
TEL 03-5549-3800

芝地区地域情報誌・編集委員を募集しています！



芝地区の話題を発掘し、取材していただく地域情報誌・編集委員(記者)を募集します

- 【対象】芝地区管内に在住、在勤、在学で取材に携わりたい人
- 【内容】地域の話の収集、取材、写真撮影、原稿作成など(年間4回発行予定)1回の取材などで平日の昼夜間に2時間程度、発行予定ごとに平日夜間、1回編集会議への参加があります。
- 【申し込み】氏名、住所(在勤、在学の方は所在地)、連絡先、在住・在勤・在学の区別を明記の上、下記の芝地区総合支所協働推進課まで、FAXまたは郵送でお申し込みください。
- 【その他】報酬等の支払いはありません。

★本誌の制作には以下の編集委員が参加しています。
天津由理香 / 伊藤泰子 / 岩崎秀雄 / 川崎望房 / 清田和美 / 日下部理絵 / 桑原庸嘉子 / 小知和千佳子 / 小林真紀子 / 佐藤剛志 / 柴崎郁子 / 柴崎賢一 / 千葉みな子 / 張簡光輝 / 日尾佳世 / 久末弥生 / 森明
★今後の発行スケジュールは次の通りです。
H23.2.20発行(第18号)、H23.5.20発行(第19号)、H23.8.20発行(第20号)、H23.11.20発行(第21号)

芝地区地域情報誌の配布について

芝地区総合支所【芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1～3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕】内の地域の方に届けているほか、地区内各施設にて配布しています。

港区芝地区総合支所協働推進課

所在地：〒105-8511 東京都港区芝公園1丁目5番25号(港区役所2階)
TEL：03-3578-3192 FAX：03-3578-3180
ホームページ: http://www.city.minato.tokyo.jp/sisyo/siba/